



日本共産党区議会議員  
こんにちは  
伊藤和彦です

自宅・足立区花畑6-7-23  
足立区役所・電話3880-5111(内線4650~4654)  
日本共産党議員団・直通・3880-5770~1  
http://www5.famille.ne.jp/~k-itou/index.html

# 区民のくらし応援する 3つの条例を提案します

## —日本共産党足立区議団—

### 各党の態度が問われます

二月二十一日から予算議会(第一回定例会)が三六日間の会期で始まりました。代表・一般質問の内容も後日お伝えします。  
日本共産党区議団は、二五日に本会議場で、区民のくらしを応援する3つの条例を提案しました。各党の態度が問われます。



### 保育料値上げストップ

「保育の実施に関する条例」の一部改正  
自民・公明・民主の与党によって保育料の値上げが強行され、今年の4月からはさらに上がり(本則実施)、東京でトップクラスの保育料になります。

日本共産党は、「子ども施策を重視する」という近藤区長に「値上げ中止」をくり返し求めてきましたが、区長は、「子育て支援とは矛盾しない」と強弁し、値上げを中止しようとしません。そこで、値上げ中止とともに負担を減らすため第2子の保育料の免除(現在は第3子以降)を提案します。

### 子どもの入学準備の負担を減らす 入学祝い金で応援

「入学祝い金支給条例」  
「義務教育は無償」といわれていますが、ランドセル(小学校・2万円位)・制服・かばん・体育着・指定の靴や上履き(以上中学校数万円)・学用品・ノートなど、入学準備には多額の負担があるのが現状です。  
この負担を少しでも軽減し、夢と希望・期待に胸をふくらませて入学する足立の子どもの入学をみんなで祝い、応援する姿勢を示すため

### 次々と負担増の 高齢者の負担を軽減

「長生き応援手当支給条例」

左の表をご覧ください。高齢者は狙い撃ちされるかのように毎年負担増がのしかかります。

「長生きすることは悪ですか?」「長生きしてはいけませんか?」という高齢者を何とか応援したいと考えるのは、政治に携わる人なら当然ではないでしょうか。

私たちは、この間区長に対し「介護保険の負担軽減」「増税負担増の痛みを和らげる何らかの施策の実施」を求めてきました。

### 高齢者を負担増でねらいうち

- 06年●定率減税の廃止
  - 老年者控除の廃止
  - 65才以上の非課税措置の廃止
  - 公的年金控除の縮小が
  - 介護保険料大幅値上げ
- 07年●増税の経過措置の縮小
- 08年●増税の経過措置の廃止
  - 後期高齢者医療制度で新たに医療保険料が年金から天引き(低所得者は今より負担増)
- 09年●介護保険料の値上げ(予定)
- 10年●後期高齢者医療保険料の値上げ(予定)

### <近藤区長の提案>

「介護保険料を一部お返し」(公約)

●5000円を上限。ボランティア活動に参加する高齢者だけ対象に、1時間のボランティアで100円分のポイントを与えることに変質。——「年寄りにボランティアで勤けと。1時間働いて100円。年寄りを馬鹿にするな」の声があがっています。

### <日本共産党区議団の提案>

- 年1回5000円を支給。
- 65才以上の高齢者全員を対象とする

### 財源を示して 実現をせまります

日本共産党

ためこんだお金は過去最高の850億円。お金がないのではなく、今の区政に区民を思う心がないのではないでしょうか。日本共産党区議団は、具体的に財源を示し、実現をせまります。

しかし、近藤区長は、「広く薄く負担を求めていくことはやむを得ない」と拒否し、自らの公約も変質(左囲み参照)。

そこで、私たちは、高齢者の長生きを応援する姿勢を足立区が示すことがどうしても必要と考え、この条例を提案します。この手当ての支給だけで高齢者の生活全てが向上するわけはありませんが、少なくとも、区民が期待していた「保険料を一部お返しする」ことに代わる施策となり、高齢者を激励するものです。

ご意見ご要望をお寄せください



# 都営住宅 承継を改善

## 高齢者・障害者に限り緩和



東京都は、都営住宅の使用者が死亡した際に、使用を継承できる同居家族について一部改善します。昨年八月、それまでの一親等（死亡した入居者の親と子）から原則配偶者に限定する制度変更を行い、承継が不許可になった人に対し知事あての明け渡し誓約書の提出まで強要していたもので「あまりにもひどい」と批判が広がっていました。

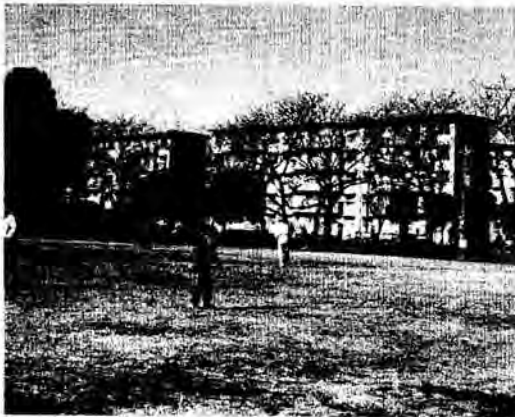
## 改善要求で都政を動かす 守る会と奮闘した日本共産党

名義人が死亡した場合、承継者が六十歳以上、同居する子どもがいても原則住み続けられます。（収入基準あり）。障害者は重度でなくても住み続けられます。（知的障害1から4度、身体・精神障害1から3級まで）

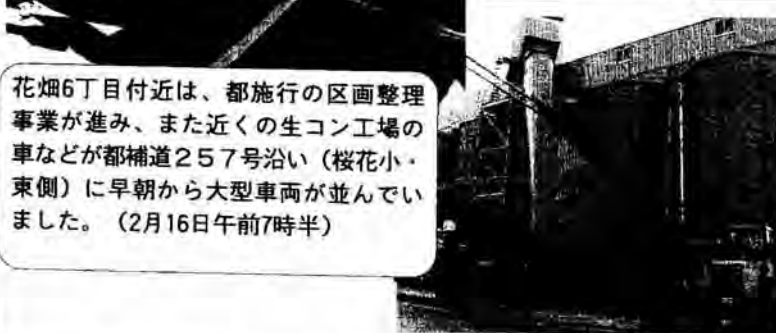
私は、名義承継問題で日本共産党都議団とともに生活と健康を守る会と共同して使用継承制度を元に戻すよう要求してきました。都庁交渉に参加した守る会の方からは、「共産党と一緒にあきらめないでがんばってきてよかった」と声が寄せられました。要求運動が都政を動かした結果です。

## 「花畑団地に住みづづけたい」

都市再生機構・UR 会が一五〇人をこえは、賃貸住宅の削減・開かれました。売却する再編成方針を明らかにし、全国七十七万戸のうち約十六万戸を団地再生などとして花畑団地も含まれました。花畑団地自治会は広く居住者の意見を聞くために西集会所と東集会所で住民集



## 「早朝から大型車両が多く 騒音、振動で眠れない」



花畑6丁目付近は、都施行の区画整理事業が進み、また近くの生コン工場の車などが都補道257号沿い（桜花小・東側）に早朝から大型車両が並んでいました。（2月16日午前7時半）

## 花畑に住区センターをつくらって欲しい

十二月、区民委員会に提出された「花畑地区における住区センター建設の早期実現を求める請願」が採択されました。請願趣旨は①花畑二丁目四番（仮換地後）住区センターを建設すること。②花畑六丁目八丁目地区に住区センターを建設すること。各派議員と伊藤和彦議員も紹介議員となりました。



ご意見ご要望をお寄せください